

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/08号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

円建てゴールド歴史的な高値更新、8963円へ

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



日本のゴールデンウィーク中にもゴールドは大きく動きました。なんとドル建てゴールド、歴史的な高値とほぼ並ぶ動きがありました。新たな米国銀行の経営破綻がふたたび安全資産としてのゴールドの買いに拍車がつき、5月4日のGlobexのオープニングである日本時間の午前7時（Globexはその1時間前の6時に前日の取引を終了し、1時間のインターバルのあと7時から翌日のマーケットが始まります。）と同時にストップロスのまとまった買いが入り、直前の引け値の2035ドルから2071.19ドルをつける急騰となりました。（Comex Jun（GCM3）で2085.40ドル、Comexベースでは歴史的な高値となります。）スポットベースでは2020年8月7日2072.50ドルの歴史的な高値にほんの少し届かずですが、Comexベースでは更新です。この高値はほんの一瞬でまとまった損切買いのオーダーが入り、それに続く買いはなく、2071ドルを付けたあとすぐに2040ドル台に戻しました。円建てゴールドもこの瞬間に歴史的な高値を大きく更新、8963円をつけました。ドル建ておよび円建てゴールドもマーケットオープニングの薄い流動性の中の成行買いで、一瞬の歴史的な高値をつけましたが、その後の買いは続かず、翌日5日金曜日の雇用統計が非農業部門雇用者数が市場予想の18.5万人増に対して25.3万人増、失業率も3.6%の予想に対して3.4%に低下、数十年ぶりの低い数字と現在の高金利とインフレの状況にもかかわらず、雇用市場の堅調さが際立ち、それによりマーケットはリスクオン動きとなり、ゴールドは売られ、一時2000ドルまで下げましたが、一週間の引けは2016ドルとなり、やはり外部環境にかかわらず堅調なことを印象づける終わり方でした。米国の銀行不安はまだ終わったわけではなく、債務上限の問題もその期限である6月1日が迫りつつあり、その状況次第によっては短期的にも再びゴールドが大きく買われる可能性があるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

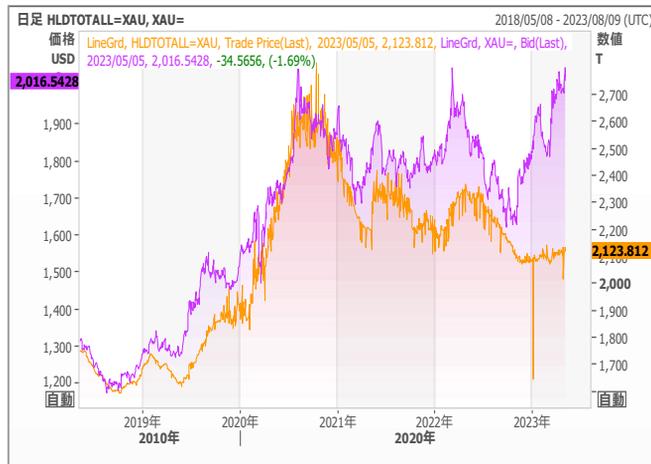
「Gold Demand Trends Q1 2023」

WGCがGold Demand Trends Q1 2023を発表。ゴールド需要全体は13%の減少。中央銀行需要は増加、地金&コイン需要は5%増加。金ETF需要は若干の減少。宝飾需要はほぼ変化なし。産業用需要は景気後退の影響で全体的に減少。鉱山生産と二次供給は若干の増加という結果でした。

Gold supply and demand

	Q1'22	Q2'22	Q3'22	Q4'22	Q1'23	Y/y % chg
Supply						
Mine production	843.1	894.4	956.3	955.7	856	▲ 2%
Net producer hedging	25.9	2.3	-25.9	-13	8.1	▼ -69%
Total mine supply	869	896.6	930.4	942.7	864	▼ -1%
Recycled gold	296.2	285.3	268.6	290.5	310.4	▲ 5%
Total Supply	1,165.10	1,182.00	1,198.90	1,233.20	1,174.40	▲ 1%
Demand						
Jewellery fabrication	516.4	492.3	582.3	601.3	508.6	▼ -2%
Jewellery consumption	475.3	458.4	526.1	629.7	477.9	▲ 1%
Jewellery inventory	41.1	33.9	56.2	-28.4	30.7	▼ -25%
Technology	81	78.5	77	72.3	70	▼ -13%
Electronics	66.2	64.6	63.2	58	56	▼ -15%
Other Industrial	12	11.3	11.3	11.9	11.6	▼ -3%
Dentistry	2.7	2.6	2.5	2.4	2.4	▼ -12%
Investment	558.4	213.8	103.9	250.6	273.7	▼ -51%
Total bar & coin demand	287.7	261.2	348	340.3	302.4	▲ 5%
Physical Bar demand	183.6	172.8	225.6	222.4	181.9	▼ -1%
Official Coin	84.6	70.8	89.4	89	96.5	▲ 14%
Medals/Imitation Coin	19.5	17.6	33	28.9	24.1	▲ 23%
ETFs & similar products	270.7	-47.4	-244.1	-89.6	-28.7	-
Central banks & other inst.	82.7	158.6	458.6	378.6	228.4	▲ 176%
Gold demand	1,238.50	943.2	1,221.80	1,302.80	1,080.80	▼ -13%
OTC and other	-73.3	238.8	-22.8	-69.7	93.6	▲ -
Total Demand	1,165.10	1,182.00	1,198.90	1,233.20	1,174.40	▲ 1%
LBMA Gold Price, US\$/oz	1,877.20	1,870.60	1,728.90	1,725.90	1,890.20	▲ 1%

Source: ICE Benchmark Administration, Metals Focus, World Gold Council



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することによるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

